

# 予算審査特別委員会

## ＝審議を尽くした2日間＝

平成30年度予算は議員全員で構成する予算審査特別委員会(村井委員長)に付託され、3月15・16日の2日間で審査されました。

主な質問内容は次のとおりです。



### 一般会計

#### 総務費(歳出)

#### Q 山内委員

①人事評価支援業務委託の結果が人事評価へ反映されているのか伺う。

②無線システム復旧支援事業の内容を伺う。

③集会場施設等解体撤去事業補助金の地区と経緯について伺う。

④中間サーバー負担金の内容について伺う。

⑤新公会計制度運用支援委託料について伺う。

⑥戸籍業務電算化事業負担金の業務内容について伺う。

⑦A 照井総務課長

①目標に対するヘルプデスクを行い、均一化を図るため2・3年は継続して進めたい。

②30年度は、システム更新事業の負担金で318万円増額している。

A 東藤企画振興課長

②臼谷地区のテレビ共聴施設の更新・維持費等に對する補助金である。

A 東藤企画振興課長

②臼谷地区のテレビ共聴施設の更新・維持費等に對する補助金である。

⑤小平菫村記念公園四阿工事について伺う。

③達布地区曙会館の解体撤去に係る予算で、今後同様な要望があった場合は検討していきたい。

④国の社会保障・税番号に係る負担金である。

A 運上財政課長

⑤四つの財務諸表が成果品となるため、支援委託としており毎年委託料が発生する。

Q 板垣委員

①姉妹都市締結40周年の交流事業の内容について伺う。

②光ブロードバンドの内容と対象地区について伺う。

③Jアラート受信機更新の中身について伺う。

④ふるさと納税の謝礼金の予定件数について伺う。

⑤小平菫村記念公園四阿工事について伺う。

A 照井総務課長

①小平市の「市民まつり」で更に友好を深めるため10名程度の方を派遣するため、詳細について今後詰めてまいりたい。

⑥予定を含めた交付件数は302件で、今後の周知については、広報等を通じて周知する。

A 東藤企画振興課長

②光ブロードバンド未整備地区等の現地調査で、本郷・達布地区と大楸地区について検討する。

③現Jアラートが処理する情報量が膨大で機能の限界があり、現行受信機の情報伝達されないことから新型受信機へ更新するものである。

A 運上財政課長

④内訳は、1万円の寄付が640件、5万円の寄付が60件分を見込んでおり、積算上の基礎であり流動

的である。

⑤臼谷地区であり、旧国鉄跡地に整備した公園である。

A 運上財政課長

④新電力2社からデータを貰っているが、中身の検討や他自治体の状況等も考慮し、年度途中でも取組める状況が整えば考

える。

Q 酒谷委員

①バス停の修繕料についての内容について伺う。

②ふるさと納税の特定目的に沿った納税の考え方について伺う。

Q 藤田委員

①地域おこし協力隊への支援と今後の受入れに対する考え方について伺う。

②福祉センター内のデマンドバス休憩室の今後の対応策について伺う。

③小型風力発電の設置に関するガイドラインについての考え方について伺う。

④現電力会社と新電力会社との対応経過について伺う。

A 東藤企画振興課長

①一本立ちする最終年度に100万円までの特別交付税措置があり、起業等での準備金として可能な部分である。また、今後の受入れについて条件整備した中で検討し進めたい。

②今の現状のままを進めたい。

③当町では、昨年12月にガイドラインを制定して

いる。

A 運上財政課長

②特定納税について内部で、即座に取組む考えはないが、特定の納税があった場合は、納税者の意思を尊重したいと考える。

A 東藤企画振興課長

①爆弾低気圧等により壊れたり、老朽化により屋根が剥れたりしたバス停で、町内全般のバス停を考えている。

A 運上財政課長

②特定納税について内部で、即座に取組む考えはないが、特定の納税があった場合は、納税者の意思を尊重したいと考える。

A 運上財政課長

②特定納税について内部で、即座に取組む考えはないが、特定の納税があった場合は、納税者の意思を尊重したいと考える。

A 運上財政課長

②特定納税について内部で、即座に取組む考えはないが、特定の納税があった場合は、納税者の意思を尊重したいと考える。